

# 病害虫発生予察指導情報

## (ナシ・ニセナシサビダニ No. 3)

令和4年6月6日  
鳥取県病害虫防除所

### 1. 情報の内容

6月上旬現在、ニセナシサビダニの発生時期は平年に比べてやや早く、発生量が多い。

### 2. 情報の根拠

- (1) 6月上旬現在、県予察ほ場（園芸試験場、殺ダニ剤無散布）におけるニセナシサビダニの葉当たり個体数は991.4頭（平年：365.4頭）で、平年に比べて多い（表1）。
- (2) 向こう1か月の気象予報から、発生盛期は平年並の6月中下旬頃と見込まれる。

表1 ニセナシサビダニの発生活消長（園芸試験場、殺ダニ剤無散布ほ場）\*

月・旬	本年**	平年***
5・上	2.8	5.2
5・中	7.0	7.0
5・下	194.0	97.6
6・上	991.4	365.4
6・中		617.7
6・下		926.7

\*：殺ダニ剤無散布ほ場、1葉あたり寄生個体数（3樹10葉調査）

\*\*：R3年度より調査樹を変更

\*\*\*：平年値は過去4年（H30年～R3年）の調査結果から算出

### 3. 防除上注意すべき事項

- (1) 密度増殖が著しい種（ハダニ類、サビダニ類など）は、発生初期の防除（初期密度の低い時点での防除）が重要である。また、ニセナシサビダニ被害の多少は新梢停止期の早晩の影響が大きい。
- (2) 第2回目の防除時期は、6月中旬頃を目安とする。薬剤はハチハチフロアブル2，000倍液などを使用し、本種が寄生している新梢先端部に薬液が十分付着するように散布する。

(参考)

防除区（3月12日にハーベストオイル1000倍液を散布、5月23日にモベントフロアブル2，000倍液を散布）におけるニセナシサビダニの発生活消長

表2 ニセナシサビダニの発生活消長（園芸試験場）\*

月・旬	防除区	無散布区
5・上	3.2	2.8
5・中	8.0	7.0
5・下	187.0	194.0
6・上	0	991.4
6・中		
6・下		

\*：1葉あたり寄生個体数（3樹10葉調査）